

異なる場所に昆虫誘引器を設置した際のカミキリムシ捕獲状況

1 はじめに

マツノマダラカミキリ (*Monochamus alternatus*、以下「マダラ」) は松くい虫被害の主要な媒介昆虫である。岩手県では効果的に松くい虫の防除対策を推進することを目的に、昆虫誘引器(以下「誘引器」)を用いたマダラ等の分布調査を実施している。この調査では確実にマダラを捕獲できる場所へ誘引器を設置することが重要である。そこで今回は効果的な設置条件を明らかにするため、異なる場所に誘引器を設置した際のマダラを含めたカミキリムシの捕獲調査を行ったので報告する。

2 材料と方法

令和7年7月4日、岩手県林業技術センター試験地(岩手県紫波郡矢巾町煙山山地内)に、サンケイ化学株式会社製の誘引器を各条件に3基ずつ設置した。設置条件は、トラップ上空が全て林冠で覆われている「林内」、半分林冠で覆われている「林縁」、林冠で覆われていない「平場」の区分とした(写真)。林内と林縁は林内の立木へ、平場は竹製の支柱へ、それぞれ広葉樹材を渡し、そこにポリエステル製の紐で誘引器を高さ1.5mに吊り下げた。

誘引器にはサンケイ化学株式会社製の誘引剤(商品名:マダラコール)を設置し、捕虫部には水道水に台所用洗剤とソルビン酸粉末を各々少量加えて注入した。その後、誘引剤の交換を3週間間隔、捕虫部に捕獲された昆虫の回収および液体の交換を3~17日間隔で実施し、捕獲されたカミキリムシを同定、頭数を記録した。なお、8月下旬は獣害による誘引器の破損が頻発したため、8月18日を捕虫部交換の最終日とした。

3 結果

マダラは林縁3箇所全てで捕獲され、林内では2箇所で捕獲された(表)。一方、平場では捕獲されなかった。マダラ以外のカミキリムシは、クロカミキリやビロウドカミキリ、ナガゴマフカミキリ等が捕獲され、各条件におけるその他カミキリムシの合計は、林内が11~21頭、林縁が8~50頭、平場が3~4頭で、平場が最も少なかった。

4 さいごに

今回の調査では、マダラは林縁および林内で捕獲され、平場では捕獲されなかった。また、マダラ以外のカミキリムシでも平場の捕獲数は少なかった。以上の結果から、本方法によるカミキリムシの捕獲環境として平場は適さないことが示唆された。このことから、誘引器の設置場所は平場を避け、林内または林縁へ設置することが望ましいと考えられた。



林内



林縁



平場

写真 各条件の誘引器設置状況

表 各誘引器のカミキリ捕獲数(合計値、頭)

設置条件	マツノマダラカミキリ	その他カミキリムシ	備考
林内-1	0	21	獣害による破損1回
林内-2	1	18	
林内-3	1	11	獣害による破損1回
林縁-1	1	50	
林縁-2	2	8	獣害による破損1回
林縁-3	2	32	獣害による破損1回
平場-1	0	3	獣害による破損1回
平場-2	0	4	獣害による破損1回
平場-3	0	3	

(担当 研究部 主任専門研究員 皆川 拓)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割560番地11
岩手県林業技術センター
ホームページアドレス

TEL 019-697-1536

FAX 019-697-1410

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>